

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社 総美
2 貴社の取組状況について	
(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景	元々取得率が高い女性従業員のみではなく、男女共に所得しやすい環境にしたいと考え、取り組みを始めました。
(2) 男性の育児休業所得にかかるこれまでの取組	従業員から申しやすい環境を整えるため、まずは管理者の意識を変えてもらうよう、部門長への周知を行いました。
(3) 所得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点	業務引継ぎや代替の検討が課題でしたが、早めに申出をしてもらうことにより、検討する時間に余裕ができました。
(4) 所得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと	業務のweb化を促進することで、関係者間での情報共有がスピーディーに行えるよう取り組んできました。
(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください。	育児休業所得者より良かったことや困ったことを聞き取りし、その都度改善を繰り返すよう心掛けています。

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 87日間
2 育児休業の取得について	
(1) 育児休業を取得したきっかけ	以前から子供ができた時は育休を所得しようと思っていました。共働きのため妻からも育休を取ってほしいとの事でした。私も協力できることはしていきたいと思ってました。
(2) 育児休業を所得して良かったこと	家事や育児を分担して、少しでも妻の負担を軽くできたこと。特に乳児期は一生のうちで一番成長の変化があるため、日々の成長を見届けられたことが、とても良かったです。
(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点	作業内容の優先順位をつけて引継ぎました。また、取得する数か月前からマニュアルを基に実務を通して引継ぎを行った。引継ぎを行いながらマニュアルのブラッシュアップもでき、十分な引継ぎができた。
(4) 育児休業の所得経験を通じて業務に生かしていること	他の方が育児休業や介護休業・長期病欠などを取得する場合に、後ろめたく思う必要はない、と励ますことができていると思います。
(5) これからの育児休業の所得を検討している方へのアドバイス	皆さんもこの制度を利用して取得してもらいたいです。育児の大変さがよくわかり、仕事復帰した今も休日の時には子供と一緒に過ごしています。改めて家庭を第一にしていかなければならないことを再確認できました。